

平成21年6月30日公表

平成20年産さとうきびの収穫面積及び収穫量

－ 収穫量は前年産に比べて7%増加 －

【調査結果の概要】

1 収穫面積

収穫面積は2万2,200haで、前年産に比べて100ha増加した。

これは、平成18年産から始まった「さとうきび増産プロジェクト」による取組により春植え及び株出しの面積が増加したためである。

2 10a当たり収量

10a当たり収量は7,200kgで、前年産に比べて6%上回った。

これは、一部地域で台風、干ばつ等の影響があったものの、おおむね天候に恵まれ生育が良好であったためである。

3 収穫量

収穫量は159万8,000tで、前年産に比べて9万8,000t（7%）増加した。

これは、収穫面積の増加に加え、10a当たり収量が前年産を上回ったためである。

図1 収穫面積の推移

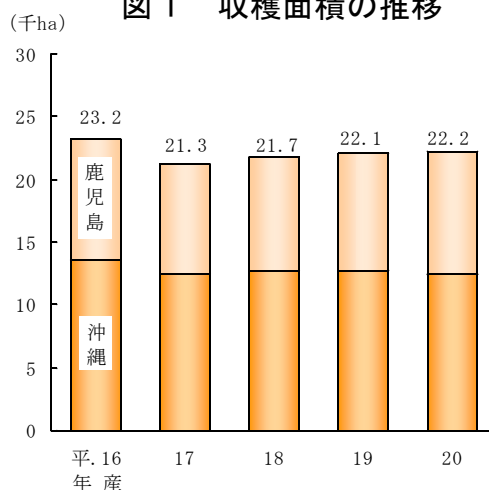


図2 収穫量及び10a当たり収量の推移

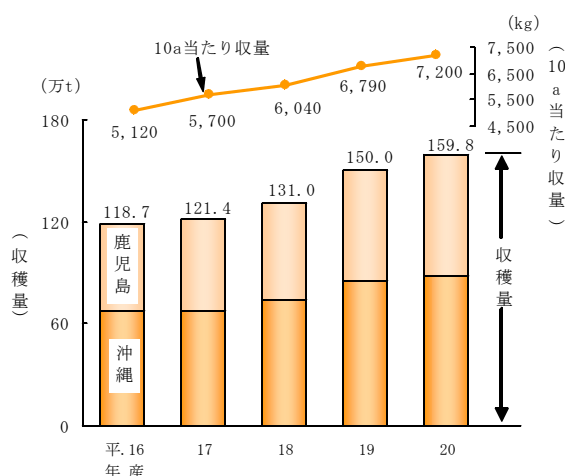


表 平成20年産さとうきびの収穫面積及び収穫量

区分	収穫面積	10a当たり収	収穫量	前年産との比較				(参考) 10a当たり平均収量対比		
				収穫面積		10a当たり収量			収穫量	
				対差	対比	対比	対比		対差	対比
	ha	kg	t	ha	%	%	t	%	%	
全国	22 200	7 200	1 598 000	100	100	106	98 000	107	121	
鹿児島	9 770	7 320	715 100	390	104	106	64 900	110	122	
沖縄	12 400	7 120	882 900	△ 300	98	106	32 900	104	121	

注：「(参考)10a当たり平均収量対比」とは、10a当たり平均収量(過去7か年のうち、最高及び最低を除いた5か年の平均値)に対する当年産の10a当たり収量の比率である。

この統計調査結果で使用している統計表は、以下のアドレスからデータとしてご利用いただけます。
【<http://www.maff.go.jp/toukei/sokuhou/data/kibi08/kibi08.xls>】

【関連するデータ、情報】

◎ 調査結果の利活用

- ・ 「食料・農業・農村基本計画」における生産努力目標の策定及び達成状況の検証のための資料
- ・ 「畑作物共済事業」における共済基準収量算定及び災害認定のための資料

◎ 関連データ

1 累年統計表

区 分	収穫面積 (ha)			10 a 当たり収量 (kg)			収穫量 (t)		
	全 国	鹿 児 島	沖 縄	全 国	鹿 児 島	沖 縄	全 国	鹿 児 島	沖 縄
平成11年産	22 800	9 330	13 500	6 890	6 550	7 110	1 571 000	611 500	959 000
12	23 100	9 470	13 600	6 040	6 220	5 940	1 395 000	589 100	805 700
13	22 800	9 380	13 400	6 570	6 810	6 420	1 499 000	638 500	860 100
14	23 800	9 880	13 900	5 580	5 230	5 840	1 328 000	516 400	811 200
15	23 900	9 890	14 000	5 810	5 640	5 940	1 389 000	557 800	831 400
16	23 200	9 550	13 600	5 120	5 310	5 000	1 187 000	506 900	680 100
17	21 300	8 750	12 500	5 700	6 100	5 450	1 214 000	533 700	680 700
18	21 700	9 060	12 700	6 040	6 260	5 850	1 310 000	567 500	742 500
19	22 100	9 380	12 700	6 790	6 930	6 710	1 500 000	650 200	850 000
20(概数)	22 200	9 770	12 400	7 200	7 320	7 120	1 598 000	715 100	882 900

資料：農林水産省統計部『作物統計』

2 甘しや糖（さとうきび）の産糖量の推移

単位：千 t

砂糖年度	鹿 児 島	沖 縄
平成11年	78	105
12	71	89
13	76	101
14	62	88
15	68	92
16	55	71
17	62	76
18	71	85
19	81	96
20(見込み)	88	108

資料：生産局生産流通振興課調べ

注：1 砂糖年度とは当該年の10月1日から翌年の9月30日までの期間をいう。

2 産糖量は製品ベースの数量である。

なお、含みつ糖（黒糖など）は含まれていない。

3 さとうきび作型別収穫面積割合（全国）

単位：%

区 分	夏 植 え	春 植 え	株 出 し
平成16年産	36	17	48
17	38	15	46
18	40	15	45
19	36	15	48
20(概数)	34	16	50

資料：農林水産省統計部『作物統計』

「さとうきび増産プロジェクト」

平成17年10月に「さとうきび増産プロジェクト会議」（主査：農林水産副大臣）を立ち上げ、増産目標（平成27年度）の達成に向け、生産者、糖業者、行政等が一体となり、収穫面積、生産量等の増加など増産に向けた取組を推進。

【統計表】

平成20年産さとうきびの収穫面積及び収穫量

区 分	収 穫 面 積	10a当 たり 収 量	収 穫 量	前 年 産 と の 比 較					
				収 穫 面 積		10a当 たり 収 量		収 穫 量	
				対 差	対 比	対 比	対 差	対 比	
	ha	kg	t	ha	%	%	t	%	
全 国	22 200	7 200	1 598 000		100	100	106	98 000	107
夏 植 え	7 450	8 120	605 100	△	580	93	98	△ 58 800	91
春 植 え	3 650	6 660	243 200		240	107	115	45 200	123
株 出 し	11 100	6 750	749 600		500	105	112	111 300	117
鹿 児 島	9 770	7 320	715 100		390	104	106	64 900	110
夏 植 え	1 690	9 160	154 800	△	220	88	104	△ 13 800	92
春 植 え	2 170	7 140	155 000		280	115	112	34 100	128
株 出 し	5 910	6 860	405 300		330	106	106	44 600	112
沖 縄	12 400	7 120	882 900	△	300	98	106	32 900	104
夏 植 え	5 760	7 820	450 300	△	360	94	97	△ 45 000	91
春 植 え	1 490	5 920	88 200	△	20	99	116	11 100	114
株 出 し	5 170	6 660	344 300		130	103	121	66 700	124

【統計表の見方等】

- 1 統計数値については、下記の方法によって四捨五入しており、合計と内訳の計が一致しないことがある。

原 数	7けた (100万)	6けた (10万)	5けた (万)	4けた (1000)	3けた以下 (100)	
四捨五入するけた数(下から)	3 けた	2 けた		1 けた	四捨五入 しない	
例	四捨五入する前(原数)	1 234 567	123 456	12 345	1 234	123
	四捨五入した後(統計数値)	1 235 000	123 500	12 300	1 230	123

- 2 表中に用いた記号は以下のとおりである。

「△」：減少したもの

【調査の概要】

1 調査の目的

本調査は、さとうきびの生産に関する実態を明らかにし、各種生産対策等の資料を整備することを目的としている。

2 調査の対象

(1) 調査の範囲

鹿児島県及び沖縄県とする。

(2) 調査対象の選定

すべての製糖会社、製糖工場等とする。

(3) 調査対象数

事業場数	回収数	回収率
		%
事業場 104	事業場 61	58.7

3 調査事項

作型別（夏植え、春植え、株出し）の栽培面積、収穫面積及び集荷量

4 調査期日

収穫期

5 調査方法

製糖会社、製糖工場等に対して調査票を送付・回収する往復郵送調査により、調査対象が自ら記入する自計申告調査による。

6 集計方法

調査結果により算出された栽培面積、収穫面積、集荷量及び10a当たり収量を必要に応じて、巡回・情報収集結果により補完し、取りまとめている。

なお、全国値は、鹿児島県及び沖縄県の結果を積み上げ集計している。

7 目標（実績）精度

本調査は、製糖会社等に対するしつ皆調査のため、目標精度は設定していない。

8 用語の解説

(1) **春植え**とは、春に茎を植え付け、発芽したものをその年の秋から翌年春にかけて収穫する栽培方法をいう。

(2) **夏植え**とは、夏に茎を植え付け、発芽したものを翌年の秋から翌々年の春にかけて収穫する栽培方法をいう。

(3) **株出し**とは、宿根株から萌芽したものを、その年の秋から翌年の春にかけて収穫する栽培方法をいう。

(4) **収穫面積**とは、当年産の作型（夏植え、春植え、株出し）の合計面積のうち実際に収穫された面積をいう。また、放棄されたものについては含めない。

(参考)

作型区分	植付期	収穫期
春 植 え	平成20年2月～4月頃	平成20年12月～平成21年4月頃
夏 植 え	平成19年7月～9月頃	〃
株 出 し	前年収穫した宿根株から萌芽させたもの	〃

9 その他

この資料の数値は概数であり、確定値は平成21年10月刊行予定の『作物統計』に掲載する。

【ホームページ掲載案内】

- この統計調査結果は、農林水産省ホームページ中の統計情報に掲載しています。
【<http://www.maff.go.jp/j/tokei/>】
分野別分類は「作付面積・生産量、家畜の頭数など」、品目別分類は「工芸農作物（さとうきび・茶）」に分類しています。
- この統計の累年データは、農林水産省ホームページ中の農林水産統計情報総合データベースに掲載しています。
【<http://www.tdb.maff.go.jp/toukei/toukei>】

農林水産施策関係ページ：農林水産省>基本政策 <http://www.maff.go.jp/j/kanbo/>

食料政策関係ページ：農林水産省>食料 <http://www.maff.go.jp/j/soushoku/>

農業生産振興関係ページ：農林水産省>生産 <http://www.maff.go.jp/j/seisan/>

問い合わせ先

◎本統計調査結果について

農林水産省 大臣官房 統計部

生産流通消費統計課 普通作物統計班 電話：03(3502)5687

◎農林水産統計全般について

農林水産省 大臣官房 統計部

統計企画課 広報普及班 電話：03(6744)2037



平成22年2月1日現在で、2010年世界農林業センサスを実施します。

調査員がお伺いしましたら、ご協力をお願いします。

農林業センサスホームページURL：<http://www.maff.go.jp/j/tokei/census/afc/>

